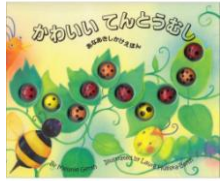




# 2歳児クラス 4月 第2回 「かわいいてんとうむし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：表紙のてんとう虫を葉っぱの台紙で隠し「かわいいお友だちを連れてきたよ。誰が隠れてる？」と、まず一匹見せ「まだまだいるよ」と一匹ずつ数えながら登場させ、お話への期待を持ってスタートさせる。※台紙は表紙の裏に差し込み、引き出しながらてんとう虫を1匹ずつ見せて行くと良い。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>※仕掛け絵本の為映像はありません</li> <li>葉っぱの台紙</li> </ul>	保育士の役割	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもが数の変化に気がつき、次を想像し、ストーリーが楽しめるように進行する。</li> <li>②登場する虫の名前や会話を広げながら読み進める。</li> <li>③最後に全員が揃ったことを喜び、再度、皆で数を確認して読み終える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達と一緒になってお話を楽しむ</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	数	てんとう虫を葉っぱのお家に貼って数えることができる。	
設問	てんとう虫を葉っぱにのせてあげましょう 何匹いるかな？数えてみましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「そーっと、そーっと」と手でてんとう虫シールを3枚隠して登場。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「何持ってるの、見せて」保育士の手を興味深々に覗くように見る。</li> <li>保：「皆も見ろ？」と子ども達にも覗かせ、「お部屋の隅に隠れていたの！」と講師の手に乗せて見せる。</li> <li>講：「てんとう虫さん、お家がなくて困っているんだって」</li> <li>保：プリントをひらひらさせながら提示。「葉っぱのお家に帰してあげてください」</li> <li>講：見本行動。プリントに横一列に並べるように貼り「てんとう虫何匹いるかな？数えてみようか？」と子ども達と左側から1匹ずつ指さし数える。「あれ？みんなの所にも葉っぱが落ちてきたよ」</li> <li>保：ひらひらさせながら高い位置からプリント配布。</li> <li>子：自ら両手で挟むようにプリントを取る。※自らの獲得行動は子どもの意欲を高めます。</li> <li>講：「みんなの葉っぱにもてんとう虫さんいるかな？」と問い掛け、てんとう虫がいないことを確認。</li> <li>保：「おーい！私たちもお家に帰りたいよー」とシールを提示。配布。</li> <li>講：「みんなもてんとう虫さんを葉っぱのお家に帰してあげよう」</li> <li>子：葉っぱの上にシールを貼っていく。 ※子ども達の貼り方は自由とする。</li> <li>講：貼り終えたら「みんなのてんとう虫さん、何匹いるかな？数えてみよう」と指示。</li> <li>子：(左から指さし確認)「1対1対応」で講師と一緒にゆっくり数えていく「全部で3(匹)」数を確認する。</li> <li>講：「てんとう虫さん、お家に帰れて喜んでるね！良かったね！」と称賛。「そろそろお昼寝の時間なんだって、おやすみなさい」と無理なくプリント回収し、活動②へ進む。</li> </ul>		P1 てんとう虫シール 一人3枚 葉っぱの台紙
	保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> <li>シール提示</li> <li>プリント提示</li> <li>配布シール提示、配布</li> <li>ばっちゃん取りでプリント配布</li> <li>1対1対応で数えられない子のフォロー</li> <li>プリント回収</li> </ul>
活動②	比較	てんとう虫の大きさを比較し、それぞれの大きさに合うシールを貼ろうとする。	※実物参照
設問	大小のてんとう虫の背中に模様をつけてあげましょう		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「見てみて」と提示用てんとう虫を持って登場。</li> </ul>		てんとう虫(大・小) 提示用てんとう虫(大・小)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「てんとう虫のお友だちが遊びに来たの」大小のてんとう虫を講師に手渡す。 ※ポケットや手の中に隠すなど提示の仕方を工夫し、大小それぞれの大きさを強調しながら手渡す。</li> <li>講：「かわいい！」と受け取り大小大きさの違いや背中の点々の特徴を確認。 ※それぞれ掌に隠したり「お母さんと子どもかな？」と背中に乗せたり、その逆にしてみたりなど、大きさの比較見本行動を楽しく見せていく。「みんなの所にもお友だち来るかな」</li> </ul>		※提示用にシールを貼って完成させておく シール大・一人5枚 シール小・一人2枚 ※大小シール配布用にそれぞれ一人ずつ皿に入れて準備しておく

<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「こんにちは」と配布用大小2個提示。「大きいのどっち？」と大小比較させて、大きいてんとう虫を取らせてから、小さいてんとう虫も配布する。 ※小さい方に固執する子もいます。その時は「小さい方が好きなのね」と受け止めつつ大きさの確認をして渡して良い</li> <li>子：大きさの比較をしながら大小のてんとう虫を受け取り、2つのてんとう虫を動かしながら講師見本同様に比較行動を楽しむ。</li> <li>講：講師も子どもと同じシール無しのてんとう虫を受け取り子ども達と一緒に比較行動を楽しんだあと「あれ？何か変ね？何が違う？」と最初の提示用のてんとう虫と並べて比較、背中に丸い（シール）模様が無いことに気付かせる。</li> <li>保：「これどうぞ」と大小のシールを提示。</li> <li>講：「これも大きさが違うね。大きいシールは？大きいてんとう虫にペタンコ。小さいシールは？小さいてんとう虫にペタンコ」と大きさの違いを確認しながら貼る見本行動。 ※間違い行動も見せながら貼っていく。 「みんなのてんとう虫さんにも貼ってあげよう」</li> <li>保：シール配布。</li> <li>子：シールの大きさを比べながら貼っていく。 ※大小逆の間違え行動で楽しんだり、目に貼る子もいると思います。大小確認だけはして、貼る場所は無理強いせず見守って良い</li> <li>講保：完成したてんとう虫を使って子ども達と一緒に遊ぶ。 ①手の平に隠す。（大きい方は隠れないことで大きさを実感） ②散歩する。 ③てんとう虫の背中を滑らせてすべり台遊び 等</li> <li>講：「楽しかったね」と称賛。「みんなのお家に連れてってあげようか」と袋を提示。袋に入れて終了する。</li> </ul>	<p>持ち帰り用ビニール袋 皿（シールゴミ用）</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提示用てんとう虫提示</li> <li>配布用てんとう虫提示、配布</li> <li>シール提示、配布</li> <li>理解できない子のフォロー</li> <li>個別に会話を楽しみながら大小理解度確認</li> <li>ビニール袋配布</li> <li>てんとう虫回収</li> </ul>
--	--

※数チャレは5月よりスタートします。

### 出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	しかけを有効活用して子ども達を絵本の世界に引き込む事が出来たか
活動①数	シールを1枚ずつ指差ししながら数える指導が出来たか
活動②比較	てんとう虫を使用して大小の比較を体験学習させることが出来たか
数チャレ	4月実施なし

## 楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・数 \*\*\*

### かぞえっこ

- 1対1対応で指さしながら数える。
- 1列に並べて上から又は左から数えると数えやすい。
- 声に出して数える。
- 最後に全体の数を確認する。  
(例)「いち・に・さん…全部で3」
- 興味のあるものやおやつのように子どもが欲しいと思えるもので行うと良い。

いりんこくつ  
あるかな？  
数えてみようか！



数に興味を持って、生活の中にある色々なものを数えてみましょう♪



楽習タイム  
の動画は  
こちら

